

## 推進委員会

本事業を推進するために、栃木県オリンピック・パラリンピック教育推進事業推進委員会を開催した。

第1回推進委員会 令和2(2020)年7月10日(金) 場所：栃木県庁北別館  
 ・事業概要説明  
 ・実践自治体、実践校における実施計画についての検討・協議

第2回推進委員会 令和3(2021)年2月10日(水) 場所：栃木県総合教育センター〔書面開催〕  
 ・実践した内容や方法等の検証及び改善策等の検討・協議  
 ・実践、成果を普及する方法等の検討・協議

### 推進委員

- 宇都宮大学共同教育学部教授 (委員長)
- 今市高等学校教頭 ■ 小山城南高等学校教頭
- 栃木市教育委員会副主幹兼指導主事 ■ 那須塩原市教育委員会副主幹・指導主事
- 下都賀教育事務所副主幹 ■ 那須教育事務所副主幹
- 栃木県総合政策部総合政策課主任 ■ 栃木県教育委員会事務局総務課課長補佐
- 栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課指導主事
- 事務局 栃木県教育委員会事務局義務教育課 栃木県教育委員会事務局高校教育課



## ワークショップ

令和3(2021)年2月12日(金)

開催方法：Zoomによるオンライン

- ・実践発表：「中核拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践事例について」  
日本体育大学 特別研究員 秋和 真澄 氏
- ・実践発表：「令和2年度の取組について」(栃木市、那須塩原市、今市高等学校、小山城南高等学校)
- ・講話：「パラリンピック教育を通じた共生社会の実現に向けて」  
日本財団パラリンピックサポートセンター マセソン 美季 氏

## 主な成果と課題

今年度実施した本事業では、次のような成果や課題が挙げられた。県教育委員会としては、今回の成果等について県内に広く周知するとともに、関係機関や有識者等との連携を図り、オリンピック・パラリンピック教育の一層の充実に努めていく。

### ◇ 成果

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、交流の場面や活動内容が制限される場合もあったが、中でもできることを考え、工夫しながらオリンピック・パラリンピック教育に取り組むことができた。特に、Web会議システムを活用してオリンピックやパラリンピアンと直接意見を交流したり、分散した会場をつなげて交流会を実施したりするなど、オンラインを活用したオリンピック・パラリンピック教育の実践が見られた。
- ・「ボッチャ」の活用等を通じて、バラスポーツへの興味・関心が高まるとともに、共生社会への理解が深まった。

### ◇ 課題

- ・オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を引き続き高めていくとともに、オリンピック・パラリンピック教育が持続可能な取組となるよう、これまでの実践事例を広く周知し、各市町教育委員会と連携しながら推進していく必要がある。

栃木県教育委員会事務局義務教育課・高校教育課  
 〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20  
 [義務]Tel. 028-623-3392 Fax. 028-623-3399  
 [高校]Tel. 028-623-3382 Fax. 028-623-3393

栃木県では、平成30(2018)年度からスポーツ庁の委託事業である「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を受託し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運醸成を図ることや、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、おもてなしの心や公共心の涵養、共生社会の理解等を目的として、「栃木県オリンピック・パラリンピック教育推進事業」を実施しています。

本リーフレットは、オリンピック・パラリンピック教育の普及・充実に向けて、今年度の推進地区である栃木市、那須塩原市、推進校である今市高等学校、小山城南高等学校の実践事例や成果等を掲載しています。

スポーツ庁委託事業 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

## 令和2(2020)年度 栃木県オリンピック・パラリンピック教育推進事業

### ◆◆◆オリンピック・パラリンピック教育◆◆◆

オリンピック・パラリンピック教育とは、オリンピック・パラリンピックの理念について学ぶとともに、その価値を体験的に教えていこうとする教育的活動のことです。大きく分けると、「オリンピック・パラリンピックそのものについての学び」と、「オリンピック・パラリンピックを通じた学び」があります。

児童生徒の興味・関心を高め、スポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野をもって世界の平和に向けて貢献できる人材を育成することを目指しています。

令和3(2021)年3月  
栃木県教育委員会

# 栃木市

## 1 実践校〈小学校 6校 中学校 6校〉

栃木第五小学校、大宮北小学校、大平南小学校、部屋小学校、真名子小学校、岩舟小学校  
 栃木南中学校、皆川中学校、吹上中学校、寺尾中学校、藤岡第二中学校、岩舟中学校

## 2 主な取組内容

### ■ 推進校での実践

- オリンピアンやパラリンピアンによる講話や交流会
  - ・ 石川 多映子 選手〔ソフトボール：シドニーオリンピック〕
    - 10月 7日（水） 真名子小学校                      10月 12日（月） 部屋小学校
    - 11月 16日（月） 藤岡第二中学校                      11月 27日（金） 栃木南中学校
 講話「夢の実現へ向けて～オリンピックの参加やメダル獲得の経験から～」  
 交流体験「石川選手の投球を体験してみよう」                      など
  - ・ 永尾 嘉章 選手〔パラ陸上：ソウル、バルセロナパラリンピックなど7大会〕
    - 11月 24日（火） 栃木第五小学校                      11月 25日（水） 大宮北小学校
    - 11月 26日（木） 岩舟小学校                      11月 27日（金） 岩舟中学校
 講話「あきらめないという事」  
 交流体験「レーサー体験・車いすリレー大会」
  - ・ 岩淵 幸洋 選手〔パラ卓球：リオデジャネイロパラリンピック〕
    - 12月 15日（火） 大平南小学校    吹上中学校
 講話「パラリンピックを知らればもっと人にやさしくなれる」  
 交流体験「岩淵選手との卓球交流体験」                      など
  - ・ 佐藤 真太郎 選手〔ボブスレー：ソチオリンピック〕
    - 12月 17日（木） 皆川中学校
 講話「オリンピックの価値を知ろう」  
 交流体験「チームワークを生かして体を動かそう」
  - ・ 増淵 倫巳 選手〔車いすバスケットボール：ロンドンパラリンピック〕
    - 12月 23日（水） 寺尾中学校
 講話「車いすバスケットボールやパラリンピック出場を通して学んだこと」  
 交流体験「車いすバスケットボール体験」

## 4 成果と課題

### 【成果】

- ・ トップアスリートの学校訪問を契機に、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。
- ・ トップアスリートの講話により、オリンピックの中心的価値である「卓越」、「友情」、「敬意／尊重」やパラリンピックの中心的価値「勇気」、「強い意志」、「インスピレーション」、「公平」についての理解を深めることができた。
- ・ 「ボッチャ」の用具を活用し、各教科・領域等の年間指導計画と関連させながら、オリンピック・パラリンピック教育を推進することができた。

## 3 活動の様子



石川選手の講話



永尾選手の講話



佐藤選手の講話



石川選手と真剣勝負



どきどきレーサー体験



チームワークが大切



岩淵選手と対戦



車いすバスケット体験



増淵選手と記念写真



岩淵選手の講話

### 【課題】

- ・ 児童生徒の興味・関心の高まりを一過性のものとしないうちに、オリンピック・パラリンピック教育について各教科・領域等の年間指導計画との関連をこれまで以上に明確にしていくことが大切である。
- ・ 各校のオリンピック・パラリンピック教育を充実させるために、『I'm POSSIBLE』等の各種関連教材を引き続き積極的に紹介していく必要がある。
- ・ 発達の段階に即したオリンピック・パラリンピック教育の在り方について検討する必要がある。

# 那須塩原市

## 1 実践校〈小学校 12校 中学校 3校〉

稲村小学校、東原小学校、埼玉小学校、豊浦小学校、高林小学校、青木小学校、三島小学校、槻沢小学校、東小学校、西小学校、大山小学校、関谷小学校、厚崎中学校、東那須野中学校、箒根中学校

## 2 主な取組内容

### ■ 推進校での実践

- オリンピアンやパラリンピアンによる講話や交流会
  - ・ 杉町 マハウ 選手〔400mハードル：北京・リオオリンピック〕  
10月14日（水）豊浦小学校
  - ・ 上原 大祐 選手〔パラアイスホッケー：トリノ・バンクーバー・平昌パラリンピック〕  
11月11日（水）大山小学校
  - ・ 鈴木 徹 選手〔走高跳：シドニー・アテネ・北京・ロンドン・リオパラリンピック〕  
11月12日（木）槻沢小学校・東那須野中学校
  - ・ 眞田 卓 選手〔車いすテニス：ロンドン・リオパラリンピック〕  
11月12日（木）稲村小学校・高林小学校・関谷小学校  
11月24日（火）東原小学校  
11月25日（水）厚崎中学校
  - ・ 増測 倫巳 選手〔車いすバスケットボール：ロンドンパラリンピック〕  
11月19日（木）埼玉小学校・青木小学校
  - ・ 秋元 妙美 選手〔ボッチャ：ロンドンパラリンピック〕  
12月3日（木）三島小学校・箒根中学校
  - ・ 金田 典子 選手〔シッティングバレーボール：北京・ロンドンパラリンピック〕  
12月8日（火）西小学校・東小学校



金田選手の講話と体験活動



オンライン交流



秋元選手とボッチャ対決

- 各学校での実践活動
  - ・ 校内スポーツ大会 2020 の開催
  - ・ 児童生徒の実行委員によるオリンピック・パラリンピックの啓発活動
  - ・ ボッチャ体験の推進
  - ・ 障害者スポーツ体験
  - ・ ホストタウン相手国オーストリアのパラリンピアンとのオンライン交流

## 3 活動の様子



鈴木選手と交流タイム



杉町選手と一緒にストレッチ



眞田選手に質問



上原選手と一緒に写真撮影



増測選手・栃木レイカースの皆さんと一緒に



介助の体験



シッティングバレーボールに挑戦



くす玉で応援メッセージ



東京のスタジオの眞田選手とつながって



車いすバスケットボールに挑戦



跳躍の指導

## 4 成果と課題

### 【成果】

- ・ オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。
- ・ オリンピアンやパラリンピアンとの関わりから、困難を乗り越えるための強さや夢をもつことの大切さについて考えを深めることができた。
- ・ パラスポーツの理解を通して、共生の大切さ、インクルーシブ教育について考える契機になった。
- ・ 障害者スポーツを体験することにより、障害をもつ方々に寄り添うとともに、仲間と関わり合える喜びについて考えることができた。

### 【課題】

- ・ できるだけ多くの児童生徒とオリンピアンやパラリンピアンが交流できる場を設定するために、実施方法等を検討していく必要がある。
- ・ オリンピック・パラリンピック後もこの学びを継続し、共生社会、持続可能な社会の実現に向けた教育活動につなげていく必要がある。
- ・ パラリンピアンの方をお迎えするに当たり、施設のバリアフリー化について課題がある。

# 今市高等学校

## 1 ねらい

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備を機に、スポーツの社会的価値（健康体力づくり、コミュニティづくり、生きがいつくり、寛容な心の育成）への考えを深め、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指す。また、障害者を含めた国際・異文化理解の重要な機会とし、インクルーシブ教育を目指す共生社会の実現に寄与する。

## 2 主な取組内容

### ● 各行事等における取組

- ・ スポーツシンポジウム テーマ「スポーツを考える」12月10日（木）  
コーディネーター 木村 浩一郎（今市高校保健体育科教諭）  
シンポジスト  
金田 典子 選手  
〔シットイングバレーボール：北京・ロンドンパラリンピック〕  
仲田 皆実 選手  
〔フィールドホッケー：アテネ・北京オリンピック〕  
今市高校男子フィールドホッケー部主将  
〃 女子バレーボール部マネージャー
- ・ 校内体育大会「今高オリンピック2020」9月24日（木）、30日（水）  
1日目 クラス対抗球技大会、リレー、長縄跳び  
2日目 運動会種目、文化部発表会
- ・ インクルーシブセミナー（全学年対象）11月5日（木）  
演題「多様性を生かす社会へ ～相手を知ること・自分を知ること～」  
講師 宇都宮大学大学院教育学研究科 准教授 司城 紀代美 氏

### ● 教科体育における取組

- ・ 体育理論「文化としてのスポーツ」、「オリンピックと国際理解」
- ・ レクリエーションスポーツ「ユニホック」の実践



スポーツシンポジウム



「ユニホック」の実践



今高オリンピック2020

## 3 成果と課題

### 【成果】

- ・ スポーツシンポジウムを通して、スポーツの様々な価値観を共有することができ、東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。
- ・ インクルーシブセミナーとスポーツシンポジウムを通して、目指す共生社会における障害者への視点を広げることができた。
- ・ コロナ禍においても体育大会・文化部発表会が開催でき、マスク姿の生徒たちに笑顔を広げることができた。

### 【課題】

- ・ 共生社会の実現に向けて、障害者スポーツへの理解をより一層深める必要がある。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策で、講演等が分散会場になり、その効果が半減した。



インクルーシブセミナー



分散会場の生徒の様子

# 小山城南高等学校

## 1 ねらい

学校の教育活動全体を通してオリンピック・パラリンピック教育を推進し、オリンピック及びスポーツの価値への理解を深め、フェアプレイ精神の涵養、スポーツの背景にある科学的論理や言語、文化、価値観の多様性を理解することにより、短期的には主体的に考え、積極的に行動できる生徒を、将来的にはグローバルな視野をもって社会に貢献できる人材を育成する。

## 2 主な取組内容

### ● 各教科等における取組

- ・ 国語科「現代文B」評論：消費されるスポーツ  
「国語表現」福祉とオリパラについて考える
- ・ 地歴・公民科「世界史B」第2次世界大戦とオリンピック  
「世界文化史」古代オリンピックについて  
「国際事情」新型コロナウイルス感染症とオリンピックをテーマに意見発表会
- ・ 理科「科学と人間生活」10月10日は晴れの特異日（気象）  
「身近な科学」暦の話、スポーツと力学・生理学、クライミングの科学  
「生物」、「生物基礎」遺伝
- ・ 保健体育科「スポーツ概論」オリンピックの歴史  
「スポーツI」、「体育」オリンピックの記録等を紹介
- ・ 芸術科「応用美術B」オリパラ競技をデザイン
- ・ 英語科「異文化理解」オリンピック名言に係わる英作文
- ・ 家庭科「調理」、「製菓」、「栄養」世界の料理・菓子実習、スポーツ栄養  
「服飾手芸」フランス刺繍、クリスマスリース製作
- ・ 総合的な探究の時間（2年）オリパラ～開催賛成か反対かを検証～

### ● 各行事等における取組

- ・ 10月30日（金）1年奉仕活動 除草作業  
校内駅伝大会会場（石ノ上広場）の除草、整備活動
- ・ 11月4日（水）スポーツ大会  
オリパラ〇×競走
- ・ 11月16日（月）アスリート講話  
澤 武芳 氏「オリンピックと私」
- ・ 「オリパラ通信」の発行
- ・ 図書委員会によるオリパラ関連書籍の広報活動



1年 奉仕活動 除草作業



スポーツ大会 オリパラ〇×競走



アスリート講話 澤 武芳 氏

## 3 成果と課題

### 【成果】

- ・ アスリート講話を通して、物事に取り組む姿勢や生き方について考える契機となった。
- ・ スポーツ大会、校内駅伝大会を通して、体力の向上とともにクラスの友情・協調性・団結力が高まった。
- ・ 授業を通じてスポーツと科学、スポーツと社会の関連性などについて理解することができた。
- ・ 授業を通じて、広く世界に目を向け、その民族や文化の多様性について考える契機になった。

### 【課題】

- ・ オリンピック・パラリンピックについて、生徒がより深く考え積極的に行動できるよう、継続して取り組む必要がある。
- ・ 事業開始が遅れ、教員の共通理解が不十分なままに取り組まざるを得なかった。今後は、事前の情報共有を図り、より計画的に、かつ協働的に取り組む必要がある。



2年 総合的な探究の時間



# 子供たちの声

実際にプレーを見せていただき、世界で戦うということを肌で感じ、驚きました。また、講話の中の「自分に勝たないと相手に勝てない」という言葉が心に残りました。  
栃木南中学校3年

わたしは、車いすバスケットボールの増淵選手が言った「大変なときこそ大きく変わるチャンスだ」という言葉が心に残りました。これからこの言葉を心にすっとしめて、自分の言葉にしたいです。  
青木小学校5年

車いすバスケットボールの種類が障害のあるなしに関係なく、多くの人を楽しめるスポーツになっていることがわかりました。  
大山小学校6年

眞田 卓選手の講演を聞いて、諦めずに希望をもち続けることの大切さを学びました。自分もどんな状況に置かれても、今できることを精一杯やり続けようと思いました。  
厚崎中学校3年

## スポーツ車いすに挑戦



## スポーツシンポジウム



年齢や性別、身体的に不自由であることの垣根を越えての話し合いは、非常に有意義でした。  
今市高等学校

右足を失ったかわりに夢を見つけて、それをかなえた車いすテニスの眞田選手はすてきです。わたしも、自分の特技を知り、感謝の気持ちをもって挑戦し、夢をかなえたいと思います。  
高林小学校6年

授業で実際に車いすに乗りました。車いすの先生が楽しそうに乗り方を教えてくれたので、がんばって取り組むことが大切だということ学ぶことができました。  
岩舟小学校6年

## パラリンピックについて知ろう



## 卓球にチャレンジ



ボブスレーについて初めて知りました。今回学んだ、オリンピックの価値「エクセレント」、「フレンドシップ」、「リスペクト」を生活の中でも生かしていきたいです。  
皆川中学校2年



## ホストタウン相手国オーストリアのパラリンピアンとオンライン交流

心に残ったことは「もっと優しく」という言葉です。自分には当たり前なことでも他の人には当たり前ではないこともあるので、もっと人に優しくしていきたいです。  
大平南小学校6年

## の 声

前向きに頑張ることの大切さを学びました。そして「大変とは大きく変わるチャンス」という言葉が印象に残りました。これからは前向きに考えていきたいです。  
寺尾中学校2年

## 車いすリレーにチャレンジ



## 走り方のポイント指導



岩淵選手のパフォーマンスをみて、相手の弱点を見極めてプレーするところが印象的でした。そして、改めて卓球やパラスポーツの面白さを知ることができました。  
吹上中学校3年

「私は他の人よりも幸せです！」ポッチャの秋元さんのこの言葉に心打たれました。どんな私であろうとも、自分と向き合い、人生を楽しむことが大切だと思いました。  
箒根中学校3年

## ポッチャに挑戦



金田さんの話からシッティングバレーボールに興味をもちました。レシーブを教えてもらい、もっとやってみたいと思いました。パラリンピックでも応援したいと思います。  
東小学校4年

## スポーツ大会



## 石川選手のデモンストレーション



# 特別支援学校の取組

# ～パラスポーツにチャレンジ～



友達と勝負して盛り上がりました。またやりたいです。



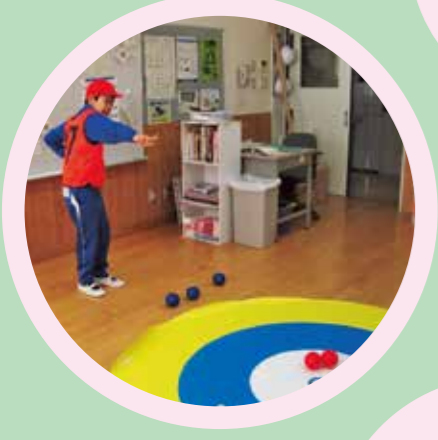
初めてだったので難しかったけれど、最後までチームのみんなと協力しながら頑張ることができました。

白いボールに赤や青のボールを投げるのがうまくいってうれしかったです。他のルールでもゲームをしてみたいと思いました。



作戦を考えて、思ったとおりにボールを投げられたときは、うれしかったです。

ボールを投げるのが難しかったです。もっとやりたいです。



ねらったところに投げるのが難しかったけれど、楽しかったです。



楽しく友達とポッチャをしています。

生徒対先生で試合をしました。ぼくは友達と協力して、3点の白い枠に近づけましたが、引き分けでした。楽しかったです。



ルールの説明を聞いて、作戦を考えました。得点も数えました。



ポッチャをしました。2回目でもとても楽しかったです。



ボールを転がしたり、投げたりして、それぞれが友達や先生と一緒に楽しみました。



ボールの重さが予想以上に重くて少し投げづらかったけれど、だんだん、とても楽しくなりました。

ポッチャがとても楽しかったです。ポッチャをしたのは初めてだったので最初は緊張したけれど、みんなとできてうれしかったです。

